



臓器搬送の外部委託 搬送臓器の拡充について





背景

- 日本臓器移植ネットワークが設置する外部有識者による移植施設委員会及びその諮問機関である腎移植部会において、移植医等の臓器搬送業務軽減を目的に臓器搬送に関する企業への業務委託を検討。
- この際、まずは腎臓搬送から整備を行い他の臓器への順次拡充を確認。
- 2019年6月、本臓器移植委員会における腎の委託搬送協議の際、同様に他臓器への拡充の可能性について示唆。
- 一方で、2020年に入り、コロナ禍の中、日本移植学会等の関連学会が実施する臓器摘出に関する互助制度を活用した臓器摘出件数が増加。



搬送企業による腎臓搬送実績(2020年)

臓器搬送業務マニュアルの整備、複数回に及ぶ搬送シミュレーションを実施の上、2020年1月より開始

提供日	臓器提供病院	搬送先移植施設	搬送時間	総虚血時間
2020/1/24	近畿地方の病院	東邦大学医療センター 大森病院	3時間34分	12時間10分
2020/4/2	西日本地方の病院	水戸医療センター	6時間51分	13時間13分
2020/5/1	静岡県立こども病院	九州大学病院	5時間45分	9時間24分
2020/10/14	福島県内の病院	岡山医療センター	6時間25分	12時間20分

※搬送依頼の連絡や摘出後に搬送依頼キャンセルした件数は除く

問題なく、安全に実施され



腹部臓器（肝臓、膵臓、小腸）への拡充検討



搬送企業による臓器の搬送における課題

1. 空路等、搬送手段の多様化による安全性の確保
 - 空路での搬送にかかる諸般手続きの複雑性
 - 保安検査場通過時の所持品確認時における不要なボックス開封防止措置
2. 搬送臓器の特性に応じた課題
 - 重量・容量等に適した臓器搬送ボックスの拡大
 - これに伴う搬送中の落下等のリスク



運用上強化した対策について

1. 企業間との臓器搬送マニュアルの改正
 - ・ 多臓器同時搬送に対応した複数搬送体制への拡充
 - ・ 1臓器（肝）2名での搬送体制の確保
 - ・ 搬送ボックスの完全封緘（セキュリティタイ*の導入）
 - ・ 搬送ボックスの多様化 等
2. 定期的な搬送シミュレーションの実施
3. 緊急時のJOTとの連絡体制の徹底
4. 企業との定期的な搬送事例検証の実施

